

「自分の考えをより適切に伝えるためには、どうすればよいのだろうか？」

—パブリックコメント（意見文）を書こう— （13時間扱い）

授業者 松下裕幸

1 教材の特徴
学習内容の
系統性

本学級児童は「意見交換会をしよう（話すこと・聞くこと）」（6月）において、立場を明確にしながらか計画的に話し合い、話題について様々な視点から検討し自分の考えを広げることが学びました。

本単元においては、これらの学んだことを生かすとともに、読むことを通して、自分の考えをより適切に伝えるための展開や表現について学び、書くことを通して、その学びを深めたいと考えます。本単元における自分の考えをより適切に伝えるための展開とは、自分の立場だけでなく、異なる立場も踏まえて考えを述べる論の進め方のことです。前単元において、話題について、様々な視点から検討したことを生かすことにより、自分の考えをより適切に伝えるための展開を学ぶことができると考えました。

中心教材の特徴

本単元における中心教材「牧田肇 白神山地の自然保護—『緩衝地域』の役割—」は、緩衝地域の必要性を説くために、核心地域と緩衝地域とを対峙して論じられています。また、「齋藤宗勝 ブナの森が支える豊かな自然」は、白神山地のブナの森には、計り知れないめぐみがあることについて、ブナの森に覆われた白神山地やブナの森の中や関係し合いながら生きるたくさんの生物を用いて述べられています。これらの特徴を捉えながら読むことを通して、自分の考えをより適切に伝えるための論の進め方と書き表し方の工夫を学ぶことができると考えました。さらに、教科書の子供の意見文の例では、「意見—根拠（データとその解釈）—留保—意見」で構成されています。この構成は、意見文の特徴であり、筋道の通った文章を書くために必要な要素です。

本単元の目的

本単元の目的は、自分の立場だけでなく、異なる立場も踏まえて考えを述べる論の進め方となるように文章を構成できるようにすることです。また、自分の考えが伝わるように、図表やグラフなどを用いて、記述できるようにすることです。

そこで、まず、読むことにおいて、自分の考えをより適切に伝えるための論の進め方「根拠（データとその解釈）」に気付くようにします。次に、書くことにおいて、意見文の特徴である文章の構成に気付くようにします。そして、それらの視点に基づいて文章を書くことにより、論の進め方や文章の構成についての理解を深め、より自分の考えを適切に伝えることができるようにしたいと考えます。

教材の難しさと
解決の方策

教材の難しさとして、第一に、意見文を書く必要感をもちづらい点が挙げられます。第二に、根拠に基づいた考えの必要感をもちつことです。第三に、異なる立場の考えを踏まえて考えを述べることです。

(フレッド・M. ニューマン, 1996)

そこで、児童が意見文を書く必要感をもちつために、言語活動として「パブリックコメントを書く」ことを設定しました。函館市のまちづくりへのパブリックコメントを書き、実際に提出します。学校の外の世界と結びついた問題に触れ「学校の外での価値」を感じることができ、必要感をもちつことができると考えました。また、実際に函館市に提出するためには、函館市の現状や方針を踏まえる必要があります。そこで、資料を活用したり、函館市民の様々な立場の考えを踏まえて自分の考えを述べたりする必要性が生じると考えました。

中心となる概念

本単元における中心となる概念は、自分の考えをより適切に伝えるための論の進め方と表現です。本単元における自分の考えをより適切に伝えるための論の進め方とは、自分の立場だけでなく、異なる立場も踏まえて考えを述べる論の進め方です。また、自分の考えをより適切に伝えるための表現とは、図表やグラフなどを用いた表現です。

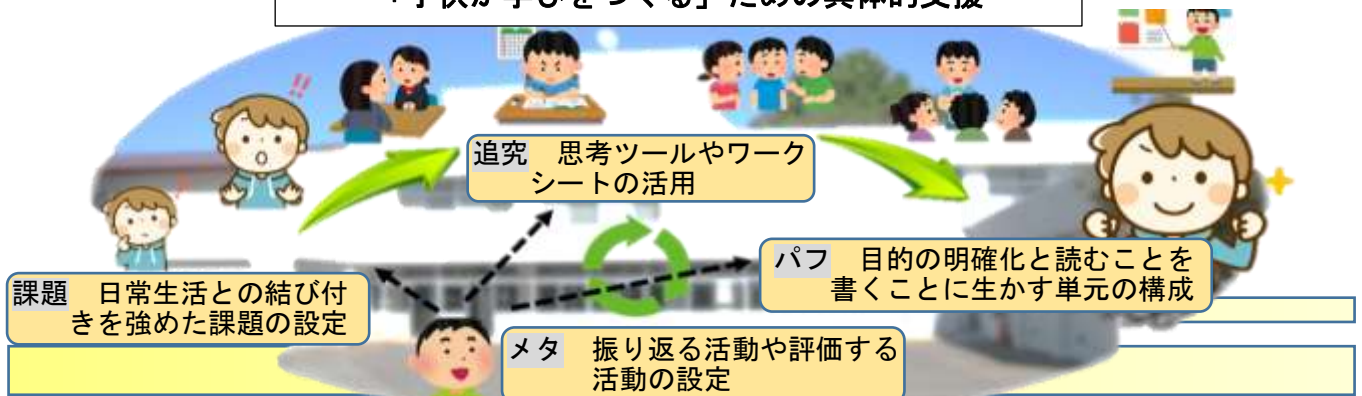
読むことにおいて獲得させた概念を書くことにおいて発揮させることにより、自分の考えをより適切に伝えるための論の進め方と表現を確実に獲得させたいと考えます。

2 本単元の目標と学習内容を身に付けた姿、具体的支援（課題設定、追究、パフォーマンス、メタ認知）

目標 自分の考えをより適切に伝えるために、文章を読むことを通して、自分の立場だけでなく、異なる立場も踏まえて考えを述べる論の進め方について考えたり、目的に応じて文章と図表などを結び付けたりしながら読むことができる。また、自分の考えを伝えるために、文章全体の展開を考えたり、意見と図表やグラフなどを結び付けて書いたりすることができる。

本単元で鍛える見方・考え方 要旨と写真との関係や事実と意見との関係に着目しながら読み、読んだことを基にしながら文章を構成したり、記述したりすることで論の進め方について捉え直すことであると考えます。

「子供が学びをつくる」ための具体的支援



日常生活との結び付きを強めた課題設定	子供が課題意識を高めるためには、子供の日常生活と結び付きの強い題材を設定する必要があると考えます。そこで、「函館市西部地区のまちづくり」を題材として扱い、パブリックコメントを書く言語活動を設定しました。
思考ツールやワークシートを活用した追究	子供が自ら追究していくためには、学習活動を明確にする必要があると考えます。そこで、集めた情報を思考ツールやワークシートを活用しながら、自ら整理したり分析したりすることができるようにしました。
パフォーマンスを高める読むことを書くことに生かす単元構成	子供が進んで読んだり書いたりするためには、読んだり書いたりする視点を明確にする必要があると考えます。そこで、読むことにおいて、自分の立場だけでなく、異なる立場も踏まえて考えを述べる論の進め方や意見と図表やグラフなどとの結び付きを学び、それを書くことにおいて生かすことができるように単元を構成しました。
評価する活動の設定によるメタ認知の促進	子供が進んで文章を整えるためには、自分の文章の修正箇所や修正の仕方に気付く必要があると考えます。そのために、学んだ文章の構成や記述の視点に基づき、自分の文章を評価する活動を位置付けました。

本単元の学習内容を身に付けた姿

知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	読むこと	書くこと	
文章の構成や文章の種類とその特徴に気付いている。	事実と意見の関係を、叙述を基におさえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 目的に応じて、文章と図表などを結び付け、論の進め方について考えることができる。	筋道の通った文章となるように、文章全体の展開を考えることができる。 図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	構成や記述の視点に基づき、自分の考えがより適切に伝わるように文章を書くようとしている。

3 単元計画

時	子供の学習活動 (○)	教師の支援 (課題, 追究, パフ, メタ)
12 課題の設定 知識・技能	<p>○ 函館市の現状について知るとともに、まちづくりへの参画意欲を高め、考えを簡単にまとめる。</p> <p>課題 動画(函館市「たからのまち はこだて～未来をつくるきみたちへ」)、函館市基本構想[2017～2026](小学校5・6学年向け)、函館市西部地区再整備事業基本方針(案)を提示する。</p> <p>○ 意見文の書き方を理解するために、夏川さんの例を分析する。</p> <p>パブリックコメント(意見文)は、どのように書けばよいのだろう。</p> <p>メタ 表現の仕方についての見通しをもつために、モデル文を分析する場面を設定する。</p> <p>○ モデル文から学習の目的を捉えるとともに、意見文を書くための学習の計画を立てる。</p> <p>意見文を書いて、何を学ぶのだろう。また、どのようにして書けばよいのだろう。</p> <p>メタ 課題解決のための見通しをもつために、学んだことを生かせるかどうかについて検討する場面を設定する。</p>	<p>9 構成・記述</p> <p>○ 伝えたいこととその基となる情報を選択したりし、考えをまとめる。</p> <p>追究 伝えたいことを明確にするために、ワークシートを用いて、考えと集めた情報を可視化しながら整理する活動を位置付ける。</p> <p>○ 図表やグラフなどを用いて、考えが伝わるように記述する。</p> <p>自分の考えを適切に伝えるために、書き表し方を工夫しよう。</p>
	<p>○ 意見文の特徴に気づき、文章全体の筋道を整える。</p> <p>もっと自分の考えを適切に伝えるために、もちろん…やしかし…が必要かどうか検討しよう。</p> <p>追究 もちろん…しかし…を用いた文章を挿入できるワークシートの様式にする。</p> <p>メタ 学習活動を振り返り、整えた文章を自己評価する場面を設定する。</p>	<p>10 構成・記述(本時)</p> <p>○ 構成シートをもとに、図表やグラフなど、論の進め方に着目しながら推敲する。</p> <p>自分の考えがより適切に伝えるために、論の進め方に着目して推敲しよう。</p> <p>メタ 論の進め方の視点に基づき、自分が書いた文章を評価する場面を設定する。</p>
	<p>○ 意見文に生かすために、論の進め方(写真と要旨との結び付き)に着目して読む。</p> <p>・齋藤宗勝「ブナの森が支える豊かな自然」</p> <p>意見文は、どのように書けばよいのだろう。</p> <p>○ 意見文に生かすために、論の進め方(事実と意見との関係)に着目して読む。</p> <p>・牧田肇「白神山地の自然保護—『緩衝地域』の役割—」</p> <p>意見文は、どのように書けばよいのだろう。</p> <p>○ 白神山地の自然保護の在り方について、考えの根拠となる事実を集め、立場を明確にし、意見を交換する。</p> <p>・資料1～6</p> <p>根拠に基づいて、意見を交換し合おう</p>	<p>11 推敲</p> <p>○ 修正後の文章について、感想を交流する。</p> <p>修正後の文章は、修正前と比べて、考えがより適切に伝わるものになったのだろうか。</p> <p>メタ 修正前と修正後の意見文を比較するよう促す。</p>
<p>345 構造と内容の把握 精査・解釈 考えの形成</p> <p>○ 伝えたいことを明確にするために、函館市基本構想[2017～2026]小学校5・6学年向けや函館市西部地区再整備事業基本方針(案)等を読む。</p> <p>○ 考えを広げるために、立場を明確にして、考えの根拠となる事実をもとに、意見を交換する。</p> <p>どのようにして函館市のまちづくりを行っていくとよいのだろう。</p> <p>○ 伝えたいことを明確にするために、函館市役所の方に自分の考えを伝え、感想をもらう。</p> <p>函館市のまちづくりは、本当にこれでよいのだろうか。</p> <p>追究 考えを広げたり、深めたりするために、函館市役所の方と意見を交換する場面を設定する。また、思考ツールに考えを整理できるようにする。</p>	<p>12 共有</p> <p>○ 学習を振り返る。</p> <p>この学習でどんな力が付いただろう。また、どこで活用できるだろう。</p> <p>メタ 学んだことや活用できそうな場面について振り返る場面を設定する。</p>	
<p>678 情報の収集 考えの形成</p>	<p>○ 伝えたいことを明確にするために、函館市役所の方に自分の考えを伝え、感想をもらう。</p> <p>○ 学んだことや活用できそうな場面について振り返る場面を設定する。</p>	<p>13 振り返り</p>

4 本時案 (10/13)

<p>本時の目標 筋道の通った文章にするために、自分の立場と異なる立場の考えの配列を意識して、文章全体の筋道を整えることができる。</p>	
<p>学習活動 (○) と子供の姿 教師の支援 (☆, 顰, 眺, パウ, メタ) と評価 (◇)</p>	
<p>○ 前時において、要旨と写真との関係に着目し、構成した文章を評価・助言し合う。</p>	<p>メタ 文章の構成について、異なる立場の相手と評価し助言し合う場面を設定する。</p>
<p>考えをより適切に伝えるためには、要旨と写真とを結び付けて構成するとよかったね。この写真でいいかな？</p>	<p>伝えたいことと写真がうまく結び付いていないよ。○○の写真を入れると自分の考えがより適切に伝わるんじゃない？</p>
<p>○ 一部の抜かれたモデル文1と単元の始めに示されたモデル文とを比べる。</p>	
<p>ん？おかしいぞ？「もちろん…」の後の部分が消えているぞ。</p>	<p>この部分は、本当に必要なのかな？この部分の意味は何だろう？</p>
<p>もっと自分の考えを適切に伝えるために、もちろん…やしかし…が必要かどうか検討しよう。</p>	
<p>○ もちろん…やしかし…が必要である理由を考える。</p>	
<p>もちろんのあとは、異なる立場のことが書いているよ。</p>	<p>でも、なぜ、異なる立場のことを書く必要があるのかな？</p>
<p>異なる立場のことを書くことで、それも考えているよって伝えるためじゃないかな。</p>	<p>自分の立場が一番よい考えだって書く必要があるよね。</p>
<p>しかしのあとは、自分の考えの方がよいことが書いてあるよ。</p>	<p>そうか。異なる立場のことも考えたけど、やっぱり自分の考えがよいということで、相手に納得してもらおうだよ。</p>
<p>もっと自分の考えを適切に伝えるためには、もちろん…やしかし…が必要だ。異なる立場のことも考えたけれど、それよりも自分の立場の考えがよいということ伝えて、納得してもらおうため。</p>	
<p>○ モデル文2を読み、もちろん… しかし…の使われ方を確認する。</p>	
<p>確かにもちろん…としかし…を使っているけど…</p>	<p>これだと、もちろん…のあとも、自分の立場のことを言っているから意味がないよ。</p>
<p>○ モデル文2を全体で整える。</p>	
<p>例えば、「もちろん、今、住んでいる人のことを考えたまちづくりも必要です。」がいいんじゃない？</p>	<p>例えば、「しかし、それだけでは、人口が減ってしまっているから、安心・安全なまちづくりに使えるお金が足りません。」がいいんじゃない？</p>
<p>モデル文2</p>	
<p>○ 自分が書いた文章を読み直し、もちろん… しかし…を使って文章を整える。</p>	
<p>もちろんは、書けたよ。 もちろん、五稜郭公園や函館山などの資産をアピールしていくことも大切です。</p>	<p>しかし、それだけじゃだめって書けばいいんじゃない？ 例えば…意見交換会の時に出た しかし、観光客によって、さらにマナーが悪くならないように、まずは、ルールをつくって安心なまちにしておく必要があると思います。</p>
<p>しかし…が難しいな。同じ立場の人に聞いてみよう。</p>	<p>とか、どうかな？</p>
<p>なるほど、意見交換会で話したことも使えるね。</p>	<p>◇ もちろん…としかし…を用いながら、留保の部分を書き、文章全体の構成を整えている。【思判表】</p>
<p>○ 学習活動を振り返る。</p>	
<p>異なる立場のことも考えたけど、それよりも自分の立場の考えがよいということ伝えて、納得してもらうために、もちろん…しかし…が必要だと分かった。 Aくんが、しかし…とところで、意見交換会で話していた観光客が来ることのデメリットを書いたらいいと教えてくれたので書けた。 前より、自分の考えがうまく伝えられている文章になったと思う。</p>	<p>メタ 学習活動を振り返り、整えた文章を自己評価する場面を設定する。 ・何が分かったか？ ・構成前の文章をどのように書き換えることができたか。 ・考えがより適切に伝わる文章になったか。</p>

